

(学校運営協議会・報告様式)

令和4年度 第1回白鳥中学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和4年5月27日(金) 18:30~19:30

2 場 所 図書室

3 あいさつ(学校長, 委員長)

《委員長》

新聞より、「学校のいじめ」について、29件のいじめ案件があると報告されてきました。中学校でも集計すると思いますが、いじめに対してきちんと対応してほしいと思っています。

《学校長》

4月から子供たちは落ち着いたスタートが切れています。修学旅行では県外へ行く予定です。6月には体育祭を行い、保護者の参列、2年生の職場体験等、実施していく予定であります。

いじめに関しては、積極的認知をしていっております。年に2回、アンケートを実施し、教育相談を通して、いじめの防止に努めていっております。

4 協議内容

(1) 学校運営協議会について

学校経営についてご意見をいただく場であります。改革方針について、今年一年ご意見をいただきたいです。ありがたいことに例年温かいご意見をいただいております。

(2) 本年度の白鳥中学校経営方針等について

・学校経営の改革方針【校長】

めざす学校像は「誠実で信頼される学校」、目指す生徒像「互いに支えあい、共に高めあう生徒」としております。行動計画は大きく5つに分かれています。学力向上が軸になってきます。研究校として来年度発表を行う予定です。研修目標は「互いに高めあい、ともに高めあい、共同できる生徒の育成」でと設定し、支えあい、高めあいという面から子どもの協働を高めた授業改善を行っていきたいと考えております。ICTの活用に関しては、今年度は子どもたち自身がICTを使用して、互いに高めあう活動ができればと思っています。また家庭学習に対しては、例年県平均を下回る結果となっておりますので、本校の大きな課題であると認識しております。地域等連携に関しては学校だよりを通して、地域の方に学校の活動を知っていただければと思っています。

・年間計画【教頭】

総勤務時間の縮減は喫緊の課題であります。教育の質の担保と労働条件の改善のバランスを考えながら取り組んでいきますので、ご理解してください。

本校の弱みの一つとして挙げられる「家庭学習」については、第3回で取り扱う予定です。もし、効果的な実践例などがありましたら、その時に紹介していただくと助かります。

・情報発信について【教頭】

学校通信を通じて、情報発信をしていきます。ホームページにも載せていく予定です。

・学校支援ボランティアについて【教頭】

テニスコートの近くにある銀杏の木の枝を切ってほしいという要望が上がってきております。もし、お近くで、お力を貸していただける方がお見えでしたら、紹介してください。

数日後、銀杏の木の剪定のことで、協力を申し出ていただき、見に来ていただける方がいました。ありがとうございます。

≪意見交流≫

- ・コミュニティスクール（地域コーディネーター）の推進会議に参加してきました。学校のサポートを地域でやっていきたいと思えます。他地区では読み聞かせ学習支援、環境ボランティア（清掃、草刈）、地域学習（地域の歴史、文化）等をしているそうです。加佐登地区では、学生がごみ拾いをしたり、しめ縄づくりをしたりする際に地域の文化について触れていました。地域の安全パトロール等も行っております。教職員の時間（オーバーロード）の対策として、部活の支援員や外部コーチについて、PTAに対して募集を行ったが、希望者はいませんでした。地域に募集をかけてみて、学校の部活動支援を地域ができないか探っていきたいと思えます。週1回や試合の引率の付きそいなど、希望（ニーズ）を出していけばやってくれる地域の方が出てくるのではないかと思います。活動の自助になればと思えます。
- ・部活動の指導で、プロ団体に依頼をしている高校もあります。費用は掛かりますが、プロを入れていくという考え方もあります。教え方に慣れない方が入ると、教え方に問題が出てくる可能性もあります。ボランティアさんができることをやっていくとよいのではないかと考えます。
- ・部活によっては差ができてしまうのではと心配します。そのような需要や部活の状況が地域ではかかわりにくいので、学校から情報を流していただき、それに対して地域が寄り添っていただければと思えます。
- ・部活動の在り方に関しては、新たな教職員の確保の壁にもなっています。連携してあり方を考えていきたいと思っております。本校では、テニス部・卓球部・バスケット部、ソフト部等で、外部の指導の方にお手伝いいただいております。
- ・思春期の子が何にイライラしているかがわからない時期がありました。学年が

上がるごとに落ち着いていった。

- ・上靴がなくなった時があったが、学校からの密な連絡、学年全体で対応しているということを伝えられて保護者は安心して子供を見守っていられました。職員室内の連携がしっかりとできている印象を受けました。
- ・スポーツに関して苦手な子も体験させてくれるような学校に感謝しています。クラブに対しての情熱が高いと感じます。孫も楽しく活動をしています。
- ・できないことを馬鹿にされると思うと、負けを認めなくなることがあります。それくらい必死になっている子どもたちにたいして、個人を認めていく声掛けが本当に大切だと思っています。発信をしていくことで地域の力を借りて子供たちを育てていきたいと考えております。

#### 《教育委員会から》

部活動の地域移行については、令和25年であるがなかなか不透明な部分が多分にあるため、地域でサポートをと言っていただけることが大変ありがたいです。温かい言葉がたくさん運営協議会で協議されました。それらの情報を発信していければと思います。来校した際は白鳥中の生徒が会うたびに挨拶をし、礼をして、礼儀正しいと思いました。